Illusion

Stereo Preamplifier

KRELL

THE LEADER IN AUDIO ENGINEERING

Owner's Manual

■目次

はじめに……3
開梱……3
設置……3
クイック･スタート ……4
●接続 ……4
●操作 ……5
フロントパネル各部の名称……6
リモートコントローラーのボタン名称……6
フロントパネル(リモコン)各部の機能……7
リアパネル各部……8-9
リモートコントローラーの電池装着……10
Illusion のカスタマイズ(メニュー操作)……11 - 16
保証……17
主な仕様……18

■はじめに

このたびはクレル“Illusion”プリアンプをお求めいただき、まことにありがとうございます。

Illusion はプリアンプ本体と大容量パワーサプライ、二つのユニットで構成されます。回路はすべて、ディスクリート素子によるフルコンプリメンタリー/完全バランス構成、全てのトランジスターを純クラス A 作動させるマルチプル出力カレントミラーを多用したクレル独自のカレント･モード･トポロジーによって電流増幅を行ない、NF を必要とせずに優れたオープンループ直線性超広帯域で実現しています。高精度 16bit 分解能をもつラダー抵抗の切替によってフル・バランスで組まれたボリューム回路は、いかなるレベル設定でも完璧にフラットな周波数レスポンスと位相整合をもたらします。また、内部の動作パラメーターとファンクションはマイクロプロセッサーとカスタムソフトウエアーによって厳格にコントロールされ、メニュー設定によるファンクションのカスタマイズも可能となっています。さらに、ハンド・ヘルド・コントローラーをはじめとして RS-232 ポートや DC12V トリガー、さらにクレル独自の CAN-LINK による複数台の Illusion をリンクさせるなど、リモート・コントロール機能も充実しています。

ご使用に際しては本取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

■開梱と設置

開梱

- 梱包には以下のものが入っています。
  - ・Illusion プリアンプ本体 / Illusion 電源ユニット
  - ・電源コード
  - ・12 ピン DC ケーブル
  - ・トリガーケーブル
  - ・リモートコントローラー
  - ・リモートコントローラー用単 4 電池 2 本
  - ・T-10 トルクス・レンチ(リモコン用)
  - ・取扱説明書 / 保証登録カード

- 梱包箱から本体と付属品類を注意深く取り出してください。

- 梱包材は、輸送の際の損傷等を防ぐために役立ちますので必ず保管しておいて下さい。

設置

- Illusion は、電源ユニットの上にプリアンプ本体を置きます。

- 本機を設置する際は、底面以外の周囲を最低でも 5cm 以上の空きを設けてください。

- 本機をキャビネット内に設置する場合は十分な通気を確保してください。

■クイック･スタート

ここでは、Illusion の基本的な機能をすぐにお楽しみいただくため、接続と操作について手短にご説明いたします。本機の機能等を完全にご理解いただくためには、本説明書を一通りお読みください。

● 接続

＊入力や出力を接続する前に、すべてのコンポーネントと Illusion の電源がオフになっていることを確認してください。また、プリアンプ本体を電源ユニットの上にセットして DC 電源ケーブルを接続した後は移動しないでください。

1. プリアンプ本体を電源ユニットの上にセットして相互の DC パワーコネクター(25,30)を付属の 12 ピン DC ケーブルでつなぎます。

2. ソース機器の出力を、プリアンプ本体リアパネルの CAST 入力、バランス入力、シングルエンド入力、テープ入力のうち、それぞれ適切な入力に接続してください。

3. プリアンプ本体のメイン出力のうち適切なものをパワーアンプの入力に接続します。

4. 電源ユニットを AC 電源に接続します。AC 電源ケーブルを電源コネクター(31)に接続し、プラグを壁のコンセントに接続してください。
   フロントパネルのディスプレイ(7)に"Illusion SOFTWARE VERSION,"の文字が表示され、しばらくすると、スタンバイ・モードになり、パワー・インジケーター(6)が赤く点灯し、パワーオンの待機状態となります。

注)Illusion と接続する機器を結ぶケーブル類は整然と配置してください。特に AC 電源ケーブルは、システムにハムなど不要なノイズを誘導するおそれがありますので、オーディオ接続ケーブルとは離して設置してください。

● Illusion の操作

1. 電源ボタン(1)またはリモコンの電源キー(1)を押して、スタンバイ･モードから、動作モードに切り換えます。パワー・インジケーター(6)が赤から青に変わり、ディスプレイにINITIALIZING の文字が現れ、その後入力番号表示とレベル表示が現れます。これで本機は動作状態となります。

2. ボリュームを完全に絞った状態で、入力選択ボタン(2)で再生するソースを選びます。ソースを再生状態にし、ボリュームでご希望の音量に調整します。

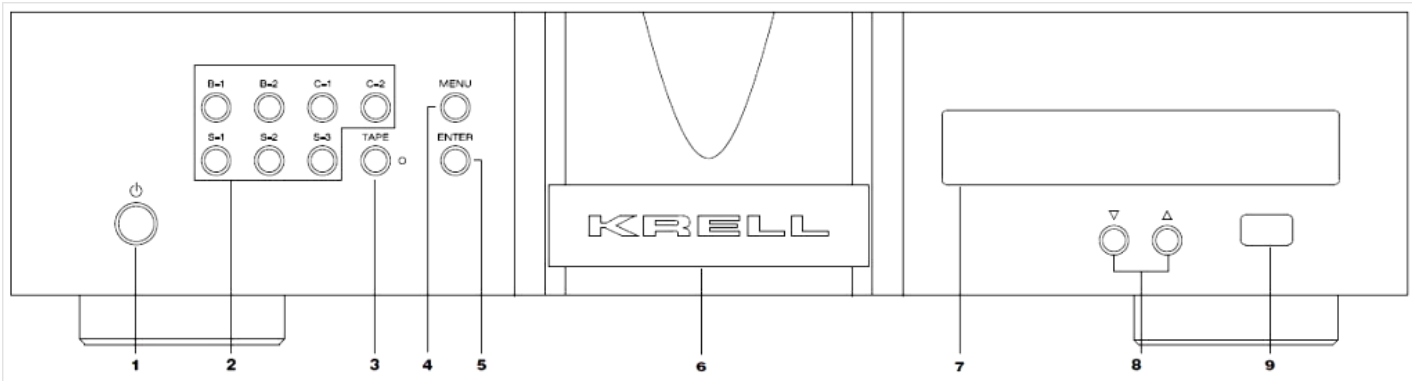
3. 再生を終えスタンバイ・モードに戻すには、電源ボタンまたはリモコンの電源キーを押します。

＊Illusion は、音楽を再生していない間も、常時スタンバイ･モードにしておくようお勧めいたします。
＊長期間にわたって Illusion をご使用にならない場合は、電源を完全にオフにしておいてください。
手順は以下のとおりです。
1. パワーアンプを OFF にします。
2. Illusion の電源ボタンまたはリモコンの電源キーを押して、スタンバイ・モードとします。
3. Illusion の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

ご注意
＊Illusion の動作中、ソース機器の接続を変更することは避けてください。
＊大音量にて再生する際は、細心の注意を払ってください。スピーカーにストレスがかかっている兆候が見えたら、すぐに音量を絞ってください。

■フロントパネル各部の名称

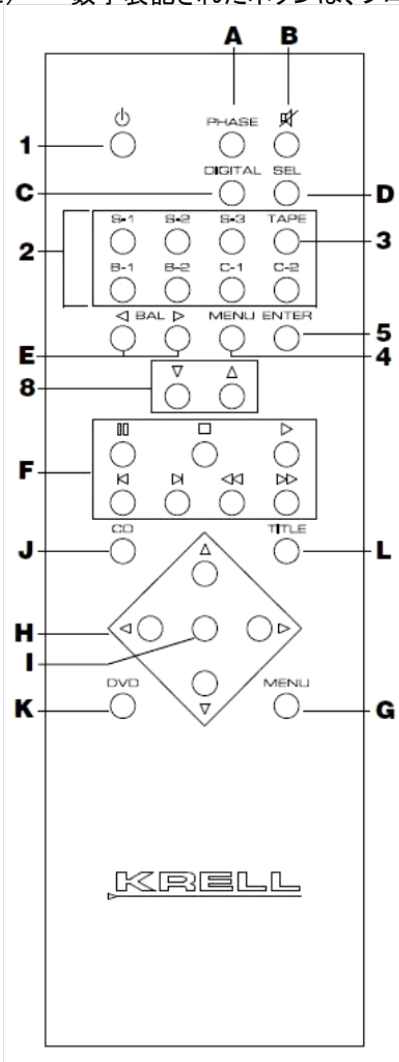
（図 1）



1. 電源スタンバイ/ON ボタン
2. 入力選択ボタン
3. テープ選択ボタン
4. メニュー・ボタン
5. エンター･ボタン
6. スタンバイ/ON　パワー・インジケーター
7. フロントパネル･ディスプレイ
8. レベル・コントロール･ボタン
9. 赤外線センサー

■リモートコントローラーのボタン名称

（図 2）　・数字表記されたボタンは、フロントパネルの数字表記と同じ機能です。



A．　位相切り換えボタン

B．　ミュート･ボタン

C．　デジタル入力ボタン　　※本機には使用しません。

D．　セレクト・ボタン　　※本機には使用しません。

E．　バランス・ボタン

F．　トランスポート・ボタン　　※本機には使用しません。

G．　CD/DVD メニュー・ボタン　　※本機には使用しません。

H．　方向指示ボタン

I．　エンター・ボタン

J．　CD 切替ボタン　　※本機には使用しません。

K．　DVD 切替ボタン　　※本機には使用しません。

L．　タイトル・ボタン　　※本機には使用しません。

■フロントパネル(リモコン)各部の機能

（図 1、図 2 を参照しながらお読みください。）

(電源関係)

1. 電源ボタン ： スタンバイ・モードと動作モードを切り換えます。

6. スタンバイ/ON パワー・インジケーター
   電源ケーブルを壁コンセントに接続するとこの LED が赤に点灯し、スタンバイ状態となります。また、電源ボタンを押して ON にすると青に変わります。(この LED はリモコンの信号を受けているときには、点滅します。)

(リモート･コントロール関連)

9. 赤外線センサー
   リモートコントローラーからの信号を受信する赤外線センサーです（リモートコントローラーからの信号が適切に受信できるよう、センサーをふさいだり、障害物を置いたりしないようご注意ください。

(プリアンプ機能)

2. 入力選択ボタン
   リアパネルの各 CAST 入力端子（C-1、C-2）、バランス端子（B-1、B-2、B-3）、シングルエンド端子（S-1、S-2、S-3）に接続した機器の再生切替ボタンです。

3. テープ選択ボタン/LED ： テープ入力を選択する際、このボタンを押します。

A. 位相切り換えボタン/LED ： 出力の絶対極性を、入力信号に対して 180°反転することができます。

B. ミュート･ボタン
   このボタンを押すと出力をミュートします。ミュートを解除するには、このボタンをもう一度押します。
   ミュートの減衰量をカスタマイズするには、「ミュート・メニュー」の項をご参照ください。

(レベル)

8. レベル・コントロール･ボタン
   音量レベルを増減します。
   さらに、本機をカスタマイズする際、メニューの選択にもこのボタンを使用します。
   カスタマイズの詳細については、「Illusion のカスタマイズ」をご参照ください。

(ディスプレイ機能)

7. フロントパネル･ディスプレイ
   選択されている入力名、テープ出力、音量、その他のメニューなどのメッセージを表示します。

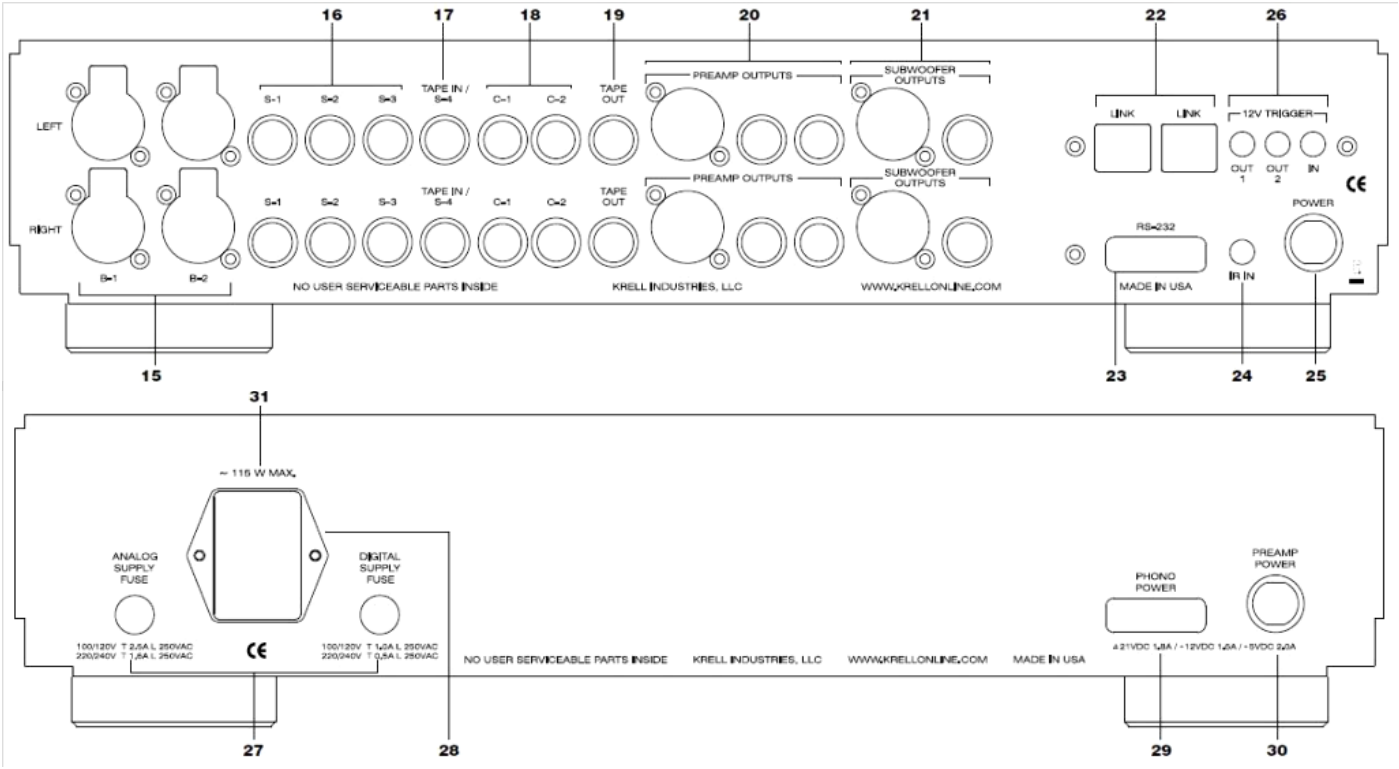
(ナビゲート/カスタマイズ機能)

4. メニュー・ボタン
   本機をカスタマイズするために、さまざまなメニューにアクセスする際、このボタンを使用します。詳細については、「Illusion のカスタマイズ」をご参照ください。

16. エンター･ボタン ：選択したメニューを決定する際に使用します。詳細は、「Illusion のカスタマイズ」ご参照ください。

■ リアパネル各部

(図 3)



(入力)

15. バランス入力端子: B-1、B-2
16. シングルエンド入力端子: S-1、S-2、S-3
17. シングルエンドテープ入力
18. CAST 入力端子(4 ピン・バヨネット・コネクター): C-1、C-2

(出力)

19. テープ出力(シングルエンド:RCA)
20. プリアンプ出力 [シングルエンド: RCA] [バランス: XLR] [CAST: 4 ピン・バヨネット・コネクター]
21. サブ・ウーファ出力(＊オプションのディバイダー基板を装着した時のみ使用)

(リンク・コントロール)

22. CAN リンク(RJ-45 コネクター): 複数の Illusion をリンクさせ操作を連動させるための端子です。

(リモート)

26. 12VDC OUT(1,2)/IN 端子(1/8 インチ・モノ・ミニジャック)

他のクレル機器、ならびに 12V トリガーに対応する機器との間で、DC12V 電源オン／オフ信号(12V トリガー)を送・受信する端子です。出力(送信)用に 2 系統、入力(受信)用に 1 系統設けられています。
(12VDC IN/OUT(1,2)端子からは、スタンバイで 0V、ON では 12VDC を出力します。)
これにより、他の機器の電源スタンバイ／ON(あるいは ON/OFF)の切り換えを、連動させることが可能です。Illusion のスタンバイ/ON で他機をスタンバイ/ON するときは、12VDC OUT(1 または 2)端子から、他機の 12VDC 入力端子に接続します。また、他機のスタンバイ/ON によって Illusion をスタンバイ/ON するときは、他機の 12VDC 出力端子から、本機の 12VDC IN 端子につなぎます。

＊12VDC 入力は最低 30mA 必要です。

＊本機のリモート機能の活用にあたってはあわせてご使用になる各機器の取扱説明書もご参照ください。

23. RS-232 端子(9 ピン D-Sub コネクター):
コンピューター・ベースの制御システムからのコマンドを受信して本機をリモート・コントロールする端子です。

24. RC-5 入力(1/8 インチ・ステレオ・ミニジャック):
ハードワイヤーで接続されたリモートコントローラーから送信される RC-5 ベースバンド入力指令を、この端子で受けます。
(端子の先端=DATA,端子のリング=+5V,スリーブ=GND)

(DC 電源)
25. プリアンプ本体の DC パワー入力。
30. 電源ユニットの DC パワー出力。付属の 12 ピン DC パワーケーブルでプリアンプ本体と接続。
★ 付属の 12 ピン DC パワーケーブルで 25、30 を接続します。

(フォノ電源)
29. クレル・フォノアンプ KPE 用電源出力
クレルのフォノ・ステージ KPE に接続する際のフォノ電源端子です。

警告 **この端子は RS-232 端子と同一形状です。コンピューターをつなぐとコンピューターが破損します。この端子には、絶対にコンピューターを接続しないでください。**

(ヒューズ)
27. FUSE: ANALOG: BUSS MDA 1-6/10 250V
FUSE: DIGITAL: BUSS MDA 1 250V

(AC 電源)
31. AC パワー入力(IEC インレット): 付属の IEC 規格 AC15A 電源コードを接続します。

● 入出力 XLR コネクターのピン配列は以下の通りです。
・1番ピン＝シールド(グランド)
・2番ピン＝非反転入力(ホット)
・3番ピン＝180°反転入力(コールド)

■リモートコントローラーの電池装着

本機のリモートコントローラーは、1.5V 単 4 電池 2 本を使用します。電池を、以下の手順で装着してください。

- 付属の T-10 トルクス・レンチにて、リモートコントローラー背面のカバーを取り外します。
- バッテリー装着部の表示にしたがって、極性をまちがえないように電池を装着します。
- 背面のカバーを元の通り取り付けます。

ご注意！

※ リモートコントローラーによる操作ができなくなったら、上記の要領で電池を交換してください。
※ 長期間ご使用にならないときは、電池の液漏れを防止するため、電池を抜いてください。

⚠ 安全に関するご注意

リモコン用の電池の取扱について

⚠ 警告

下記のことは必ず守ってください。電池の使い方を間違えると電池が発熱、液もれや破裂したり、機器の故障やけが等の原因となります。

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
- 分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- ＋－を逆に入れないでください。
- ＋－をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 電池そのものや電池を入れたリモコンの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているので、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさけましょう。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。
- 電池のもれ液が漏れて目に入ったり皮膚や衣服に付着した時は、失明やけが等の恐れがあるので綺麗な水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- 長期間ご使用にならない場合はリモコンから電池を外してください。また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。
- 電池の使用推奨期限：リモコンの働きが悪くなったりした場合や、また、通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。

Illusion のカスタマイズ（メニュー操作）

Illusion は、メニュー選択方式によって操作上のさまざまな設定が容易に行なえます。
設定項目は、
[バランス] [入力バランス] [入力トリム] [シアター･モード] [入力の位相] [ディスプレイ] [ミュート] [トリガー入力] [トリガー出力] [AC メイン] [入力の名前] [ボリューム・ディスプレイ] [リンク・コントロール] [RS232 コントロール] [RC5 コントロール] [IR 出力コントロール] などです。
また他に、Illusion のバージョン、ソフトウェア、ハードウェア、ファームウェアなどの情報を参照する[Info]と、設定を保存したり、呼び出したりする機能 [Save] [Recall] もあります。

■メニュー操作のしかた

①MENU ボタンを押してメニューモードに入る、
②ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用してメニュー設定項目を選ぶ、
③ENTER ボタンを押して選択した設定項目を確定させる。
〇設定メニュー項目のトップに戻したいときはボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して BACK を表示し ENTER ボタンを押す。
〇メニュー・プロセスから抜け出したいときは、MENU ボタンを押します。

■メニュー内容の説明と設定のしかた

[バランス] BALANCE

全入力に対して L と R のレベルバランスを変える機能。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)
1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して BALANCE メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルトの設定[CENTER]が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して 0～+5dB(0.5dB ステップ)の範囲で L/R のバランスを設定。
4. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、BALANCE メニューに戻ります。

[入力バランス] INPUT BALANCE

B-1,B-2,S-1,S-2,S-3,C-1,C-2,TAPE の各入力に対して L と R のレベルバランスを変える機能。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)
1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して INPUT BALANCE メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイに入力番号が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して希望の入力を選ぶ。
4. 希望の入力番号で ENTER を押す。デフォルトの設定[CENTER]が表示。左右ボリューム・ボタンを使用して 0～+5dB(0.5dB ステップ)の範囲で L/R のバランスを設定。
4. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、入力番号が表示メニューに戻ります。入力番号表示 BACK を出し、ENTER を押すと、INPUT BALANCE メニューにもどります。

[入力トリム] INPUT LEVEL TRIM

各入力の入力感度を変える機能。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して INPUT LEVEL TRIM メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイに入力番号が表示。
   ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して S-1,B-1,TAPE のうち設定したい入力を選ぶ。
3. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルトの設定[0dB]が表示。
4. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して±6dB(1dB ステップ)の範囲で設定。
5. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、入力番号が表示の入力設定メニューに戻ります。
6. 1 段階上に戻るには、BACK を出し、ENTER を押す。

[シアター･モード] THEATER

プリアンプのゲインをユニティーとし、ボリュームコントロールを無効にします。ホームシアター・ユースなどで外部のサラウンドプロセッサーから本機に入力する場合に使用します。

※シアター・モードは一つの入力にしか設定できません。もし、以前に他の入力がシアター・モードに設定されていて、別の入力をシアター・モードに設定すると他の入力はシアター・モードが解除され通常モードの設定に戻ります。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して THATER メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイに入力番号が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して S-1,B-1,TAPE のうち設定したい入力を選ぶ。
4. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルトの設定[OFF]が表示。
5. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して ON(シアター・モード)か OFF(通常モード)を選ぶ。
6. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、入力設定メニューに戻ります。

[入力の位相] INPUT PHASE

選択した入力に対して本機の出力位相を反転させる機能。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. I ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して NPUT PHASE メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイに入力番号が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して S-1,B-1,TAPE のうち設定したい入力を選ぶ。
4. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルトの設定[NORMAL]が表示。
5. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して NORMAL(正相)か INVERT(位相反転)を選ぶ。
6. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、入力設定メニューに戻ります。

[ディスプレイ] DISPLAY

ディスプレイの表示時間(常時表示、数十秒間表示後に消灯)と、輝度(brightness)を変える機能。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して DISPLAY メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイに [MODE]が表示。
3. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルトの[ON] モードが表示。
4. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して ON(常時表示) か TIMED(数十秒間表示後に消灯)のいずれかを選ぶ。
5. ENTER を押して確定させる。フロントパネルディスプレイにデフォルトの設定[MODE]が表示。
6. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して BRIGHTNESS を選ぶ。
7. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルトモード [HIGH]が表示。
9. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して OFF , LOW (25%), MED(50%) , HIGH(100%) の中から輝度を選ぶ。
10. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、BRIGHTNESS 設定メニューに戻ります。

※ 輝度(brightness)OFF の設定は、通常作動時に完全消灯してしまう設定ですが、メニュー設定操作中は 50%の輝度で点灯します。

[ミュート] MUTE

ミュート時のミュートレベルを設定する機能。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して MUTE メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルト設定の [FULL]が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して FULL , -20dB のいずれかを選ぶ。
4. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、MUTE 設定メニューに戻ります。

[トリガー入力] INPUT TRIGGER

外部機器の 12V トリガー出力を本機のトリガー入力に接続したとき、外部機器のトリガー信号の ON/OFF に連動して本機の電源を ON/スタンバイに切り替える機能です。

トリガー入力モードは OFF , NORMAL , THEATER のいずれかに設定できます。

- OFF はトリガー入力を無効にします。
- NORMAL は通常のトリガー機能として機能させます。
- THATER では、トリガー入力で ON となったとき、シアター・モード入力の設定があるときはその入力が自動的に選ばれます。本機の入力のいずれもシアター・モード入力の設定がされていないとき、あるいは、トリガーモードが NORMAL のときは、以前選んでいた入力がそのまま選ばれます。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して INPUT TRIGGER メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルトの [NOR MAL] モードが表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して OFF , NORMAL , THEATER のいずれかを選ぶ。
4. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、INPUT TRIGGER 設定メニューに戻ります。
5. MENU ボタンを押してメニューモードを解除します。

[トリガー出力] OUTPUT TRIGGER

本機のトリガー出力 2 系統のモードをそれぞれ設定する機能。モードは ON , OFF , DELAY(0-20 秒)が選べます。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して OUTPUT TRIGGER メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルト項目[TRIGGER 1] が表示。
3. もう一度 ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルトの[OFF] モードが表示。
4. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して OFF , ON , DELAY のいずれかを選ぶ。
5. DELAY を選んだときは、0-20 秒の間で遅延時間を設定します。(DELAY 表示 > ENTER > ボリューム・ボタンで時間を選ぶ)
6. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、DELAY 設定メニューに戻ります。
7. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して BACK を表示させます。
8. ENTER ボタンを押すと TRIGGER 1 に戻ります。
9. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して TRIGGER 2 を表示させ、同様にステップ 4-8 を繰り返して TRIGGER 2 の設定をします。

[AC メイン] AC MAINS

デフォルト設定は OFF となっていて、通常は本機の AC コードを電源につなぐと最初はスタンバイ・モードとなりますが、この AC メインメニューで ON の設定にすると、AC コードを電源につなぐと最初からスタンバイをパスして ON 状態になります。必要に応じて OFF か ON かを選びます。

（まず MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス）。

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して AC MAINS メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルトの[OFF] モードが表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して OFF , ON のいずれかを選ぶ。
4. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、AC MAINS 設定メニューに戻ります。

[入力の名前] INPUT NAME

B-1,B-2S-1,S-2,S-3,C-1,C-2,TAPE の各入力ボタンを押したときに表示される各名称を初期設定から変更する機能です。本体にプリセットされた多彩なリストの中から好きな名称を選ぶことができます。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して INPUT NAME メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルト項目の[B-1]が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して B-1,B-2,S-1,S-2,S-3,C-1,C-2,TAPE の中から変更したい入力を選ぶ。
4. ENTER ボタンを押すとディスプレイ表示はブランクになります。
5. ボリューム・ボタンを上下すると上記リストにある名前がディスプレイ左に現れます。
6. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、変更したい入力を選ぶ 4.のステップに戻ります。
7. 他に名前を変更したい入力があれば、ステップ 4-7 を繰り返します。
8. 設定を終えるときは、MENU ボタンを押してメニューから抜けてください。

[ボリューム・ディスプレイ] VOLUME DISPLAY

ボリューム表示方法を 0～151 の数値表示(NUMERIC)か、-inf(-∞)～+12dB のデシベル表示(DB)かを選択できます。(NUMERIC 表示は、1 ステップ単位で変化します。dB 表示は最低レベル域-75dB～-50dB では 3dB,2dB,1dB ステップですが、-50dB 以上は 0.5dB ステップで変化します。)

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して VOLUME DISPLAY メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルト項目の [NUMERIC]が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して NUMERIC か dB のいずれかを選ぶ。
4. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、VOLUME DISPLAY メニューに戻ります。

[リンク・コントロール] LINK CONTROL

リンクとは、二台以上の Illusion を CAN Link で接続したときに、一台の Illusion での入力切替やボリューム操作が他の Illusion でも自動的に連動する機能ですが、このリンク・コントロール・メニューはそのリンク機能を生かしたり無効にしたりする設定です。

LINKED = リンクが有効　　UNLINKED = リンクが無効

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して LINK COTROL メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォル項目の [UNLINKED]が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して LINKED , UNLINKED のいずれかを選ぶ。
4. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、LINK COTROL メニューに戻ります。

[RS232 コントロール] RS-232 CONTROL

LINK TRANSMIT と LINK RECEIVE が選べます。LINK TRANSMIT の設定では、 RS232 で接続したコンピューターなど外部コントローラーからのコマンドを CAN Link でつながれた別の Illusion に送り出します。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して RS232 CONTROL メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルト項目の [LINK TRNSMIT]が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して LINK TRANSMIT , LINK RECEIVE のいずれかを選ぶ。
4. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、RS232 COTROL メニューに戻ります。

[RC-5 コントロール] RC-5 CONTROL

LINK TRANSMIT と LINK RECEIVE が選べます。LINK TRANSMIT の設定では、 RC5 で接続した有線リモートコントローラーからのコマンドを CAN Link でつながれた別の Illusion に送り出します。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)

1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して RC5 CONTROL メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルト項目の [LINK TRNSMIT]が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して LINK TRANSMIT , LINK RECEIVE のいずれかを選ぶ。
4. ENTER ボタンを押すと設定が確定し、RC5 COTROL メニューに戻ります。

[IR 出力コントロール] IR OUT

本機は IR 出力[7.Infrared Transmitter LED]から学習リモコンにリモコンコマンドを送り学習させることができますが、これはそのときに使うメニューです。 (但し、この機能を使わなくても一般的な方法で、本機のリモコンから学習リモコンに直接コマンドを送ることも可能です。)

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)
1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して R OUT メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイにデフォルト項目の [B-1]が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して学習させたいボタン機能の名前を選ぶ。
4. ENTER ボタンを押すとそのコマンドが IR 出力[7.Infrared Transmitter LED]から出ますので、学習リモコンをそこに近づけて覚えさせます。(コマンドが送られている間はスタンバイ LED が点滅しています。)
5. 別のコマンドを送るには、ステップ 3-5 を繰り返します。
6. ENTER ボタンを押すと、IR OUT メニューに戻ります。

INFO

本機のソフトウェア、EEPROM、内部の各 PC ボードの情報を参照するメニューです。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)
1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して INFO メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイに [ソフトウェア・バージョンの番号]が表示。
3. ボリューム・ボタンの UP を押すと、[EEPROM バージョン番号]が表示。
4. さらにボリューム・ボタンを UP に押すと、[PC ボード・バージョン番号]が表示。
5. ENTER ボタンを押して、ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用する事で表示[PC ボード]がリストから選べます。

SAVE

メニュー設定の内容を記憶させる機能です。

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)
1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して SAVE メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイに [GO] が表示。
3. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイに [SAVE] が表示。

RECALL

一度設定を変えた後に工場出荷時の初期設定に戻したいとき、また、SAVE した設定を呼び戻したいとき、
あるいは、クローン化を取り消したいときに使う機能です。
・[FACTORY]= 工場出荷時の初期設定　　・[SAVED]= SAVE した設定

(まず、MENU ボタンを押してメインメニューにアクセス。)
1. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して RECALL メニューを出す。
2. ENTER を押す。フロントパネルディスプレイに [FACTORY] が表示。
3. ボリューム・UP/DOWN ボタンを使用して[FACTORY] [SAVED]の中から実行したい項目を選ぶ。
4. ENTER を押すと実行されます。フロントパネルディスプレイに [RECALL] が表示。

■ 保障について

● 本機は長期にわたって高い信頼性を発揮できるよう設計されておりますが、万が一、故障などのトラブルが発生した場合は、有限会社アッカのサービス･スタッフがサポートいたします。

● お客様自身による修理は絶対に行なわないでください。保証の対象外になるばかりでなく、アンプ部には高い電圧が流れているため大変危険です。

● 修理のために製品をアッカに返送される際、事前にお電話で症状についお求めの販売店、もしくはアッカにご相談ください。アッカの連絡先は次のとおりです。

有限会社アッカ
〒106-0031　東京都港区西麻布 1-15-1
森ロビル 7F　Tel.03-5785-0661 Fax.03-5785-0662 : info@accainc.jp

● 製品をご返送される際、お買い求めの際に使われていた梱包材をご使用になりカートンに入れて下さい。これは保証サービスを受けていただくために絶対に必要な条件となります。

● 製品保証期間: 1 年間

● 日本国内における製品保証について日本国内における本機の製品保証については、以下の規定が適用されます。

○ 保証

本機に用いられている材料や生産工程には充分な品質管理が施されていることを保証いたします。
製品の保証期間は初代の購入者による購入日から 1 年間です。この保証は購入日から 30 日以内に同梱の保証登録書をアッカにご返送いただいた場合にのみ適用されます。

○ 保証内容

取り扱い説明書に従わない使い方をした場合や乱暴に扱った場合、輸送中の事故や不注意、アッカ以外で修理や変更が加えられた製品に対しては、この保証は適用されません。ご購入の販売店、またはアッカへ製品を返送される際、梱包･配送はお客様のご負担となります。

○ 修理

製品の故障が上記保証内容と条件に合致している場合、部品代や技術料はアッカが負担いたします。

○ その他

製品に対するいかなる保証についても保証期間中のみ有効です。なお、本機に接続された機器に対して付随的に発生した故障やその修理費用については、本保証ではいっさい適用されません。

＊この保証規定は英文の取扱説明書を含むすべての保証に関する記述に優先します。

■Illusion 主な仕様

●入力端子	：	XLR バランス x 2、RCA シングルエンド x 3、CAST x 2
●テープ入力	：	RCA シングルエンド x 1
●メイン出力端子	：	XLR バランス x 1、RCA シングルエンド x 1、CAST x 2
●テープ出力	：	RCA シングルエンド x 1
●コントロール入力	：	RS-232 x 1(9 ピン Dsub)、RC-5 リモート IR(3 極ミニジャック)、リンク端子(RJ45) 12VDC トリガー(2 極ミニジャック)
●コントロール出力	：	12VDC トリガー(2 極ミニジャック)、リンク端子(RJ45)
●その他出力	：	KPE 用ファントム電源出力
●入力インピーダンス	：	・XLR バランス：40kΩ　・RCA シングルエンド：20kΩ　・CAST ：25Ω
●出力インピーダンス	：	・XLR バランス ：250Ω　・RCA シングルエンド ：125Ω　・CAST ：＞1MΩ
●ゲイン	：	・XLR/CAST ：12dB　・RCA シングルエンド：6dB
●ボリューム･コントロール	：	バランス/電流モード/16bit R-2R ラダー構成
●最大入力レベル	：	・XLR バランス：9V RMS　・RCA シングルエンド ：18V RMS　・CAST ：11mA
●最大出力レベル	：	・XLR バランス：20V RMS　・RCA シンシングルエンド：10V RMS　・CAST ：22mA
●周波数特性	：	・@±0.01dB ：20Hz-20kHz(XLR、RCA、CAST 共に) @+0,-3dB：0.2Hz-1.3MHz (XLR/RCA) ：0.2Hz-2MHz (CAST)
●T.H.D	：	＜0.003% (@20Hz-20kHz、XLR-4VCAST-4mA RMS)
●S/N 比	：	@ XLR 4V、CAST4mA RMS ：＞100dB(unweighted) ・＞109dB(A-weighted)
●消費電力	：	・スタンバイ時：2W　・パワーON 時：65W　・KPE 接続時：75W
●電源トランス	：	・アナログ ：250VA　・デジタル ： 40VA
●オプション基板	：	クロスオーバー･ネットワーク
●寸法(W x H x D)	：	本体 ： 483mm x 97mm x 464mm　電源 ： 438mm x 97mm x 448mm
●重量(Kg)	：	本体 ： 8.1 / 電源 ： 12.7

輸入･発売元

有限会社アッカ
〒106-0031 東京都港区西麻布 1-15-1 森ロビル 7F
Tel.03-5785-0661Fax.03-5785-066
www.accainc.jp